

## 平成 18 年度通常総会議案について

平成 18 年度通常総会は去る 4 月 24 日に開催され、以下の総会議案がすべて原案通り承認されました  
のでお知らせします。

### 平成 17 年度事業報告 (第 1 号議案)

#### I. 事業の概要

##### 1. 研究発表会 (定款第 5 条 1 号)

- (1) 3 月 16 日、17 日の両日、東京農工大学小金井キャンパスにおいて、第 97 回研究発表会を開催した。  
 • 特別テーマ「共生社会と OR」  
 • 特別講演 (一般公開)  
 1) 知の产业化・大学の役割—東京農工大学を例にして— 宮田 清藏 (東京農工大学 学長)  
 2) 共生社会を目指して

山本信一郎 (内閣府 政策統括官)

- 発表件数 144 件
- 一般発表 144 件 (うち部会報告 1 件)
- 参加者数 420 名

- (2) 9 月 14 日、15 日の両日、神戸学院大学有瀬キャンパスにおいて、第 98 回研究発表会を開催した。

- 特別テーマ「ユビキタス社会と OR」
- 特別講演 (一般公開)  
 1) ユビキタス社会における道路交通と OR

長谷川利治 (南山大学 数理情報学部教授)

- 発表件数 119 件
- 一般発表 119 件
- 招待講演 2 件
- 参加者数 329 名

また、16 日には UCC 上島珈琲(株)六甲アイランド工場、神戸酒心館を見学した。

##### 2. シンポジウム (定款第 5 条 1 号)

- (1) 3 月 15 日、東京農工大学小金井キャンパスにおいて、第 53 回シンポジウム「都市の OR」を開催した。講演 5 件。参加者は 89 名であった。
- (2) 9 月 13 日、神戸学院大学有瀬キャンパスにおいて、第 54 回シンポジウム「マネジメント再考と OR」を開催した。講演 4 件。参加者は 48 名であった。
- (3) 10 月 20 日、21 日、シティ弘前ホテルにて、第 17 回 RAMP シンポジウムを開催した。セッションは「リスクマネジメントの最適化」、「離散凸解析の新展開」、「連続最適化」、「数値最適化」、参加者は 117 名であった。

#### 3. 普及活動 (定款第 5 条 1 号)

##### (1) 定例講演会

開催年月	テーマ	講 師	参加人数	開催地区
17 年 5 月	企業にみる成長戦略と生き残り戦略	山田 久文	11 名	九 州
17 年 12 月	技術経営とサプライチェーンマネジメント	大野 勝久	25 名	関 西
17 年 12 月	Excel への誘い：最適化からシミュレーションまで	大野 勝久	25 名	中 部

##### (2) OR セミナー

・ 第 1 回「最適化の時代 大規模な現実問題の解決によるイノベーション～アルゴリズム もう 1 つの革命 この 10 年の進歩～」を 12 月 8 日、(株)野村総合研究所丸の内総合センターで開催した。参加者 80 名。

題 目	講 師
整数計画法 —最適化アルゴリズムの進化とオペレーションズ・リサーチの現実問題への適用—	今野 浩 (中央大学)
計画作成から運営へ：短縮を続ける最適化の処理時間	ロバート・ビクスピ (ILOG)
鉄道システムにおける最適化アルゴリズムの活用	清水 宏之 (株)ジェイアール東日本情報システム)
スケジューリング及びロジスティクスネットワークデザイン問題への最適化アルゴリズム適用	松川 公司 (三菱化学エンジニアリング株)
大規模問題に対する最適化アルゴリズムの適用	井上 和佳 (新日鉄ソリューションズ株)

(3) OR 企業フォーラム

開催	テーマとゲストスピーカー	参加者
第1回 (18.1.23) 学士会館	私の実践経営システム(?)論 —SCM 基幹業務と商品開発業務を通じて— ○サントリーロジスティクス(株) 取締役会長 橋本忠夫 放送・通信連携の現状と将来 ○NHK 放送技術研究所 所長 榎並和雅	34名

(4) 企業事例交流会

- ・第15回企業事例交流会は、第97回研究発表会（東京農工大学）にて3月16日開催、発表件数5件。
- ・第16回企業事例交流会は、第98回研究発表会（神戸学院大学）にて9月14日開催、発表件数5件。

(5) 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

4. 刊行物（定款第5条2号）

- 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.50, No.3～Vol.50, No.12を各3,500部、Vol.51, No.1～Vol.51, No.2を各3,400部発行した。
- 論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan）Vol.48, No.1～Vol.48, No.4を各2,900部、和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan）Vol.48を2,800部発行した。
- 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集  
春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

(4) セミナーテキスト

「最適化の時代 大規模な現実問題の解決によるイノベーション～アルゴリズム もう1つの革命 この10年間の進歩～」に関するテキストを発行した。

5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力（定款第5条3号）

(1) 日本学術会議関連

平成17年10月1日から日本学術会議は大幅な改革が行われた。主要な点は、これまでの学術研究団体を基礎とした会員推薦制から日本学術会議が会員候補者を推薦すること、従来の7部制から3部制（人文科学、

生命科学、理学及び工学）へ編成替えすること、研究連絡委員会を廃止し、会員と連携して学術会議の職務の一部を行う連携会員を新設することなどである。

この改革のなかで、「登録学術研究団体」が廃止され、「協力学術研究団体」が新設されたことに伴い、当学会も10月20日付にて「協力学術研究団体」への申込を行った。

(2) 経営工学関連学会協議会（FMES）関連

日本学術会議の研究連絡委員会が廃止されたことから、FMESも代表者会議の設置を柱とする規約改正を行った。即ち、これまで協議会の会長は日本学術会議経営工学研究連絡委員会委員長が務めていたが、この廃止に伴い、協議会に構成学会の代表者による代表者会議を置き、代表者の互選により協議会の会長を選出することとなった。

平成18年3月16日に開催された代表者会議に当学会は代表者に高橋幸雄副会長、副代表に水野眞治涉外担当理事を派遣した。この代表者会議で、2006年4月から高橋幸雄氏がFMESの会長（任期2年）へ選出、幹事は水野眞治氏が務めることになった（3月17日理事会承認）。

平成17年度のFMESの活動は以下の通り、日本学術会議と連携してのシンポジウム開催およびJABEE認定審査であった。

① シンポジウム委員会

平成17年度のシンポジウムは平成17年6月3日「世界のMOT、日本のMOT」をテーマに、日本学術会議講堂において開催された。今年度の当番幹事学会は研究技術計画学会であった。

② FMES/JABEE委員会

当学会からは運営委員に水野眞治氏（涉外担当）、田村明久氏（研究普及）が派遣されている。また、審査委員会にもOR学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野のJABEE認定審査に協力している。なお、FMESの事務局は平成17年7月から（社）日本品質管理学会が務めている。

(3) 日本技術者教育認定機構（JABEE）

当学会は2001年2月に正会員として加入（会費1口10万円）するとともに上記FMESグループとして加入、その幹事会費分（日本経営工学会、日本品質管理学会と当学会の3学会が各10万円）を負担している。

既述の通り、大学教育プログラムの認定作業を実施している。経営工学分野では本年度、1大学で実施された。

(4) (社)日本工学会関連

工学系 94 学協会の連合体である(社)日本工学会の諸活動に協力し、また同会事務研究委員会に委員 1 名（事務局長）が参加している。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合（略称：横幹連合）

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会、FMES メンバーなど 30 学会が参加して、平成 15 年 4 月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として水野眞治氏（東京工業大学）、理事として岡本吉晴氏（法政大学）、鈴木久敏氏（筑波大学）、出版委員として杉野隆氏（国士館大学）が派遣されている。

6. 他学協会との交流（定款第 5 条 3 号）

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・Eco Design 2005（エコデザイン学会連合）
- ・2005 年度春季全国研究発表大会（経営情報学会）
- ・第 48 回自動制御連合講演会/第 1 回横幹連合コンファレンス（計測自動制御学会、他）
- ・第 1 回「安全・安心の科学」シンポジウム（計測自動制御学会）
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2005（計測自動制御学会）
- ・計測自動制御学会関西支部「平成 17 年度講習会」（計測自動制御学会）
- ・第 55 回システム制御情報講習会（システム制御情報学会）
- ・計算科学シンポジウム（情報処理学会）
- ・スケジューリング・シンポジウム 2005（スケジューリング学会）
- ・経営情報部会講演会（石油学会）
- ・第 35 回信頼性・保全性シンポジウム（日本科学技術連盟）
- ・空間情報社会シンポジウム（日本学術会議）
- ・第 7 回日本感性工学会大会・総会（日本感性工学会）
- ・第 24 回日本シミュレーション学会大会（日本シミュレーション学会）
- ・日本信頼性学会フォーラム（日本信頼性学会）
- ・第 13 回春季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・第 18 回秋季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・日本信頼性学会フォーラム（日本信頼性学会）
- ・情報セキュリティ学際シンポジウム（日本セキュリティ・マネジメント学会）
- ・第 21 回ファジィシステムシンポジウム（日本知能情報ファジィ学会）

・第 18 回年次大会（バイオメディカル・ファジー・システム学会）

・非線形解析学と凸解析学に関する第 4 回国際会議（非線形解析学と凸解析学に関する国際会議組織委員会）

7. 國際協力（定款第 5 条 3 号）

- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて各国の OR 学会との交流、協力を図った。また、IFORS 2005（7 月 11 日～15 日）がハワイのホノルルで開催され、日本からは 157 名が参加した。
- (2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、アジア・太平洋地域の OR の発展と加盟学会の情報交換に協力した。また、APORS 2006（1 月 16 日～18 日）がフィリピンのマニラで開催され、日本からは 12 名が参加した。
- (3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAOR の国内頒布に協力した。
- (4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。
- (5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動（定款第 5 条 4 号）

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、財グローバル・インフラストラクチャー研究財團からの受託研究を「世界のインフラストラクチャー」研究部会を窓口に実施した。

## 9. 研究部会・研究グループ（定款第5条4号）

### 研究部会・研究グループ終了/中間報告

◎印 終了を示す  
＊印 研究グループを示す  
☆印 常設部会を示す

部会名	主査幹事	メンバー	開催	内 容
☆待ち行列	山下 英明 (首都大学東京) 藤本 衡 (東京電機大学)	26名	6回	通信ネットワークに関する講演が引き続き多く行われた。待ち行列にとどまらない確率モデルを用いた様々な解析の報告が更に増加した。また、チュートリアルを通じて初学者への啓蒙が行われた。
☆OR/MSとシステム・マネジメント	山田 善靖 (東京理科大学) 松林 伸生 (東京理科大学)	90名	6回	OR/MSの成果を経営システムのマネジメントに有効に利用する方法の研究を目的とし、高度情報通信環境下におけるOR/MSの活用実態についての知見収集と共に、企業経営に生かすための概念方策等を検討した。
☆数理計画(RAMP)	藤重 悟 (京都大学) 平井 広志 (京都大学)	30名	1回	第17回シンポジウム(セッション:リスクマネジメントの最適化、離散凸解析の新展開、連続最適化、数値最適化)を10月20・21日に弘前市シティ弘前ホテルにて開催した(117名参加)。
☆統合オペレーション	梅沢 豊 (大東文化大学) 中野 一夫 (構造計画研究所)	30名	6回	毎回の研究会を通じて、各種のオペレーションの戦略・マネジメントの問題、すなわち、企業間連携、BPR、SCM、TOC、モジュール化などの問題について、理論的・実証的分析を行った。
☆評価のOR	刀根 薫 (政策研究大学院大学) 篠原 正明 (日本大学)	29名	4回	携帯電話事業の自然独占性分析、SBM多段階法による日本の銀行の効率性分析、範囲の経済性の理論枠組、サッカー選手の評価、垂直的部門からなる事業者の効率性評価など、DEAの理論と応用に関する研究発表が行われた。
◎アルゴリズム	岩田 覚 (東京大学) 武田 朗子 (東京工業大学)	30名	6回	年間5回の定期研究会を開き、毎回2名の講演者を招き、問題解決の数理的手法としてのアルゴリズムに関する研究発表を計10件行った。この他に筑波で合宿形式の研究会を開き3件の招待講演・特別講演と26件的一般発表を行った。
◎意思決定とOR	前田 隆 (金沢大学) 桑野 裕昭 (金沢学院大学)	12名	5回	主に北陸地区におけるOR各分野の専門家が参集し、担当者・開催場所を変えて研究集会を開催した。研究発表は大学所属研究者・院生によるものが多くを占め、内容は理論や手法、事例研究であった。
◎ゲームと実験	武藤 滋夫 (東京工業大学) 渡辺 隆裕 (首都大学東京)	50名	10回	本年度は10回の研究会を開催した。国内外からの報告が13件あり、今後のゲーム理論及び実験経済学の発展の方向及び応用分野の可能性について、有意義な意見の交換を行うことができた。
◎AHPの世界	木下 栄蔵 (名城大学) 大屋 隆生 (電力中央研究所)	28名	4回	AHPの応用事例を中心に、研究会を4回開催した。参加者のAHP、ANPに対する理解を深めることができ、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける意思決定での適用性を高めることができた。
21世紀モノ造りマネジメント	伊呂原 隆 (上智大学) 成松 克己 (東芝)	15名	9回	製造業におけるマネジメントの今後の方向性を探るべく、特徴的な取り組みを紹介する講演の他、先端的なマネジメントを行っている工場の見学も積極的に開催し、議論を深めた。
世界のインフラストラクチャー	栗田 治 (慶應義塾大学) 三浦 英俊 (明海大学)	18名	11回	インフラストラクチャー問題にORの視点から多面的に接近し、①数量的評価、②効果の視覚化、③リスク管理、④数理地政学的研究の基礎モデル、⑤我が国の天然ガスパイプライン計画といった面で研究を促進した。
不確実性理論の経営科学への応用	藏野 正美 (千葉大学) 岩村 覚三 (城西大学)	9名	6回	不確実性理論の応用として、柔軟でソフトな数理モデルの構成と解析方法の研究を行った。Credibility、理論の応用、知覚情報を許容する決定過程モデルと強化学習による適応型決定モデルの構成と解析などに成果を得た。
経営・教育とOR	椎原 正次 (大阪工業大学) 大角 盛広 (神戸学院大学)	11名	4回	本年度は4回の研究会を開催した。この中で、①MOT教育や社会人教育における現状と将来展望、②e-Learningの問題点とその改善方法についての報告があり、活発な質疑応答が行われた。
サプライチェーンネットワーク	高井 英造 (フレームワークス) 草刈 君子 (SAS Institute Japan)	32名	10回	10回の研究会とOR学会・関連学会・国際会議におけるSCM関連セッションを4回実施した。実務家とOR専門家の協働研究によって、ネットワークとしてのサプライチェーン合理への新しい展開を研究し、資料と記録はホームページで公開している。
食糧・環境問題における数理的手法	伊藤 健 (東北大)	19名	5回	5回の研究会を開催し、食料・環境問題を扱う現場における問題や数理的手法の適用の事例を報告していただき、今後の展開の可能性や異なる問題点について意見交換を行い、今後の問題と可能性について知見を得た。
マーケティング・インテリジェンス	中川慶一郎 (NTTデータ) 高橋 彰子 (NTTデータ)	30名	8回	マーケティング・インテリジェンスに関する理論・方法論を議論した。また、データ解析コンペティションを開催し、広く参加者を得てOR諸手法のマーケティング問題への適用、解決法について議論した。

## 10. 表彰（定款第5条5号）

### (1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

- 第34回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。
- A 4/3-approximation for the minimum 2-local-vertex-connectivity augmentation in a connected graph

Journal of Algorithms 56

- Graph algorithms for network connectivity problems

Journal of the Operations Research Society of Japan Vol. 47, No. 4

永持 仁（京都大学）

### (2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞奨励賞

第1回文献賞奨励賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- On the Counting Process for a Class of Markovian Arrival Processes with an Application to a Queueing System

Queueing Systems 49

河西 憲一（群馬大学）

- Fast Scaling Algorithms for M-convex Function Minimization with Application to the Resource Allocation Problem

Discrete Applied Mathematics 134

塩浦 昭義（東北大大学）

- Solving Large Scale Optimization Problems via Grid and Cluster Computing

Journal of the Operations Research Society of Japan Vol. 47, No. 4

藤澤 克樹（東京電機大学）

- On the identification of degenerate indices in the nonlinear complementarity problem with the proximal algorithm

Mathematical Programming Vol. 99, No. 2

山下 信雄（京都大学）

### (3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第31回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

若山 邦紘（法政大学）

### (4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第30回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。

財団法人 鉄道総合技術研究所

### (5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞

第26回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- 百貨店における隠れた親近性の発掘

オペレーションズ・リサーチ Vol. 50, No. 2

オウ 口（東京海上日動火災保険株），

吉原 哲弥，矢島 安敏（東京工業大学）

- 電力消費のモニタリング・データを用いた省エネ・アドバイス方法の提案

オペレーションズ・リサーチ Vol. 50, No. 2

井階 美歩，高橋 彰子，中川慶一郎，

矢野 順子，山中 啓之（株）NTTデータ，

生田目 崇（専修大学）

- 通勤電車の遅延計算モデル

オペレーションズ・リサーチ Vol. 50, No. 6

鳥海 重喜（中央大学），

中村 幸史（パイオニア株），

田口 東（中央大学）

### (6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞

第7回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

森戸 晋（早稲田大学）

### (7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第23回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。

- Combinatorial Matrix Analysis by Sign Patterns

垣村 尚徳（東京大学・修士論文）

- 矩形パッキング問題に対する厳密解法

劍持 光俊（京都大学・卒業論文）

- グラフの向き付けに関する最適化問題の解法

小林 佑輔（東京大学・卒業論文）

- Minimum Cost Source Location Problems with Flow Requirements

坂下麻里子（大阪大学・修士論文）

- 劣モジュラ多面体上の最適化アルゴリズムの研究

永野 清仁（東京大学・修士論文）

- The Relation between Option Pricing and Optimization Problems

西原 理（京都大学・修士論文）

- 移動距離に着目した夜間小児医療施設配置

松本 立子（筑波大学・卒業論文）

- 電子部品装着機における最適化アルゴリズムの研究

山田 剛史（東京農工大学・修士論文）

## 11. 支部活動（定款第5条6項）

支部ごとに次のとおり活動した。

### 支部活動報告

	北海道	東 北	中 部	関 西	中国四国	九 州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 4回	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・幹事会 1回
研究会	研究会 1回	研究会 2回	研究会 1回 支部研究発表会 1回	6 研究部会	3 研究部会	研究会 1回
講演会	講演会 1回	講演会 1回	定例講演会 1回	講演会 1回	講演会 2回	講演会 2回
講習会						
出版			支部ニュース 5回 アブストラクト集 1回	支部ニュース レター 1回		
その他	シンポジウム 1回		支部シンポジウム 2回 三学会共催講演会 1回 平成18年秋季研究発表会実行委員会 1回	第54回シンポジウム 平成17年秋季研究発表会 支部ホームページの運営	シンポジウム 2回 支部40周年記念事業準備委員会 1回	

## II. 処務の概要

### 1. 役員に関する事項

理事	非常勤
定数：12人から18人（現在：17人）	
任期：2年	
監事	非常勤
定数：2人（現在：2人）	
任期：2年	

### 2. 職員に関する事項（略）

### 3. 会議に関する事項

#### (1) 臨時総会

開催年月日	議事事項	結果
17.3.16	1. 定款並びに定款細則改定の件 2. 平成17年度事業計画の件 3. 平成17年度収支予算の件 4. 名誉会員推薦の件	承認 〃 〃 〃

#### (2) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
17.4.25	1. 平成16年度事業報告の件 2. 平成16年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成17年度18年度役員選任の件	承認 〃 〃

#### (3) 理事会（略）

#### (4) 支部長会議（略）

#### (5) 委員会・幹事会（略）

#### 4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

#### 5. 契約に関する事項

該当なし

#### 6. 寄付金に関する事項

該当なし

## 7. 主務官庁からの連絡事項等（略）

## 8. 会員状況

## (1) 入退会内訳

	名譽 会員	正会員	学生 会員	賛助会員		合 計
				A 種	B 種	
平成17年2月末日	12	2,205	267	64 (78)	22 (22)	2,570(100)
平成 17 年度	入会		49	67	6 (6)	5 (5)
	学→正		52	△52		
	正→学		△1	1		
	正→名	1	△1			
	退 会	△1	△110	△26	△5(△8)	△2(△2)
	除 名		△38	△32		△70
	復 活		1	1		2
	純 増 減		△48	△41	1(△2)	3 (3)
						△85( 1)
平成18年2月末日	12	2,157	226	65 (76)	25 (25)	2,485(101)

( )は口数

## (2) 地域別内訳

	名譽会員	正会員	学生会員	賛助会員		
				A 種	B 種	
本 部	9	1,255	160	48 (58)	23 (23)	
北 海 道		70	7	2 (2)		
東 北		84		1 (2)		
中 部	1	203	16	4 (4)		
関 西	2	310	33	7 (7)	1 (1)	
中国・四国		126	4	2 (2)		
九 州		109	6	1 (1)	1 (1)	
合 計	12	2,157	226	65 (76)	25 (25)	

( )は口数

## 平成 17 年度収支計算書（第 2 号議案）

## 収支計算総括表

平成 17 年 3 月 1 日から平成 18 年 2 月 28 日

(単位：円)

1 収入の部	
科 目	一 般 会 計
基本財産運用収入	1,500
入会金 収入	114,300
会費 収入	41,304,560
事業 収入	15,546,794
その他の 収入	7,579,145
当期 収入合計	64,546,299
前期繰越 収支差額	7,335,244
収入合計	71,881,543
2 支出の部	
科 目	一 般 会 計
事業費	40,558,654
管理費	22,104,980
その他の支出	1,882,665
当期支出合計	64,546,299
次期繰越 収支差額	7,335,244
(当期収支差額)	( 0 )
支出合計	71,881,543

## 平成 18・19 年度役員候補者名簿（第 3 号議案）

会務役職	定数	候補者	備考（非改選役員）
会長	1 (1)	青木 利晴	
副会長	3 (1)	大山 達雄	片山 隆仁
"		青沼 君明	高橋 幸雄
庶務	2 (1)	武藤 滋夫	
国際	1 (0)	牧本 直樹	
研究普及	2 (1)	田村 明久	
編集	2 (1)	中森 真理雄	
会計	1 (1)		
涉外	1 (1)	樺尾 博	
広報	1 (1)	香田 正人	
支部	1 (0)	中川 慶一郎	
無任所	3 (2)	河合 一	石井 博昭
		吉野 秀明	大鑄 史男
監事	2 (1)	高橋 誠	山田 善靖

( )内は平成 18 年度改選数

平成 18・19 年度議員候補者名簿(第 4 号議案)

	氏名		氏名		氏名
1	相澤りえ子	26	今野浩	51	福島雅夫
2	淺田克暢	27	齋藤司郎	52	藤野直明
3	井垣伸子	28	逆瀬川浩孝	53	増山繁
4	伊倉義郎	29	佐藤富士夫	54	松井知己
5	伊田嘉昌	30	猿渡康文	55	松尾俊彦
6	岩田怜	31	三道弘明	56	松本浩樹
7	上田徹	32	塙出省吾	57	松山久義
8	上野信行	33	神正照	58	水野眞治
9	大澤義明	34	杉野隆	59	宮沢政清
10	大西匡光	35	鈴木敦夫	60	森雅夫
11	大橋守	36	鈴木道夫	61	矢島安敏
12	小笠原暁	37	住田潮	62	安田一彦
13	小澤正典	38	高井英造	63	山上伸
14	海生直人	39	高橋理	64	八巻直一
15	片山勁	40	高森寛	65	山下英明
16	木嶋恭一	41	時永祥三	66	山下浩
17	木島正明	42	刀根薰	67	山田茂
18	木村俊一	43	中川義之	68	山田孝子
19	久保幹雄	44	中出康一	69	若山邦絃
20	栗田治	45	中野一夫		
21	腰塚武志	46	行方常幸		
22	小島平夫	47	根本忠明		
23	後藤義雄	48	長谷川利治		
24	古林隆	49	枇々木規雄		
25	近藤幹雄	50	福川忠昭		